(再評価)

資料3-2-2-3 関東地方整備局 事業評価監視委員会 (平成26年度第3回)

一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (茂原~木更津)

平成26年9月26日 国土交通省 関東地方整備局 東日本高速道路株式会社

費用便益分析の結果

路線名	事業名	事業名延長		現拡・B P・そ の他の別
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道(茂原~木更津)	∟=28.5km	高規格B	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	 事業主体	
17, 600~25, 500	4	関東地方整備局 東日本高速道路(株)	

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成26年度	
単純合計	2, 092億円	508億円	2, 599億円
うち残事業分	472億円	54億円	526億円
基準年における 現在価値(C)	2, 336億円	222億円	2, 558億円
うち残事業分	285億円	17億円	302億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計		
基 準 年		平成26年度				
供 用 年		平成25年度(完成平成42年度)				
単年便益 (初年便益)	95億円	11億円	5. 9億円	111億円		
基準年における 現在価値(B)	2, 652億円	298億円	185億円	3, 135億円		
うち残事業分	504億円	61億円	52億円	616億円		

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 2
経済的純現在価値(事業全体)	577億円
経済的内部収益率 (事業全体)	5. 0%
費用便益比(残事業)	2. 0
経済的純現在価値 (残事業)	314億円
経済的内部収益率(残事業)	10.0%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析(事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	17, 600~25, 500	±10%	1.2~1.2
事業費	2, 092億円	±10%	1.2~1.2
事業期間	38年	±3年	1. 2~1. 3

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	17, 600~25, 500	±10%	2.0~2.1
事業費	472億円	±10%	1.9~2.3
事業期間	15年	±3年	2.0~2.3

交通状況の変化

事業名:首都圈中央連絡自動車道(茂原~木更津)(事業全体) (事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量 ^{※1}	[台/日]	_	21, 200
①新設・改築道 路:28.5km		走行時間※2	[分]	_	19
		走行時間費用※3	[億円/年]	_	72. 33
	館山自動	交通量	[台/日]	34, 900	32, 600
	車道:	走行時間	[分]	19	19
	27. 3km	走行時間費用	[億円/年]	122. 43	110. 77
	て芸古会	交通量	[台/日]	57, 900	50, 600
	千葉東金 道路:	走行時間	[分]	15	14
	14.8km	走行時間費用	[億円/年]	151. 25	127. 13
	国道297	交通量	[台/日]	17, 000	15, 800
	号:	走行時間	[分]	20	16
	10.7km	走行時間費用	[億円/年]	60. 43	46. 50
	国 送 400	交通量	[台/日]	8, 300	5, 900
	国道409号:	走行時間	[分]	51	49
②主な周 辺道路 ^{※4}	31.2km	走行時間費用	[億円/年]	78. 96	54. 29
	県道加茂	交通量	[台/日]	3, 300	500
	木更津 線:	走行時間	[分]	16	16
	10.6km	走行時間費用	[億円/年]	9. 29	1. 33
	県道鶴舞	交通量	[台/日]	7, 500	6, 800
	馬来田停 車場線:	走行時間	[分]	20	17
	14.5km	走行時間費用	[億円/年]	26. 50	20. 30
	県道市原	交通量	[台/日]	18, 200	16, 200
	茂原線:	走行時間	[分]	27	27
	10.9km	走行時間費用	[億円/年]	94. 04	86. 65
	県道木更	交通量	[台/日]	7, 200	4, 700
	津末吉線:	走行時間	[分]	29	27
	17. 9km	走行時間費用	[億円/年]	37. 53	22. 86
	道路合計: 1.6km	走行時間費用	[億円/年]	23, 223. 11	23, 108. 26

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)
合計:7321.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	23, 803. 53	23, 650. 39	153. 14

※:四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名:首都圈中央連絡自動車道(茂原~木更津)(事業全体)

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

事業名:首都圈中央連絡自動車道(茂原~木更津)(残事業)

(残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量 ^{※1}	[台/日]	11, 800	21, 200
①新設・改築道 路: 28.5km		走行時間**2	[分]	30	19
		走行時間費用※3	[億円/年]	60. 04	72. 33
	館山自動	交通量	[台/日]	33, 000	32, 600
	車道: 27.3km	走行時間	[分]	19	19
	Z1. SKIII	走行時間費用	[億円/年]	114. 65	110. 77
	千葉東金	交通量	[台/日]	55, 900	50, 600
	十条東亚 道路: 14.8km	走行時間	[分]	14	14
	14. ökiii	走行時間費用	[億円/年]	144. 18	127. 13
	国道297	交通量	[台/日]	15, 900	15, 800
	国坦297 号: 10.7km	走行時間	[分]	18	16
	TO. /KIII	走行時間費用	[億円/年]	51. 35	46. 50
	国道409	交通量	[台/日]	6, 600	5, 900
	国理409 号: 31.2km	走行時間	[分]	49	49
②主な周	31. ZKIII	走行時間費用	[億円/年]	61. 81	54. 29
辺道路※4	県道加茂	交通量	[台/日]	1, 100	500
	木更津 線:	走行時間	[分]	16	16
	10.6km	走行時間費用	[億円/年]	3. 13	1. 33
	県道鶴舞	交通量	[台/日]	7, 300	6, 800
	馬来田停 車場線:	走行時間	[分]	17	17
	14.5km	走行時間費用	[億円/年]	22. 75	20. 30
	旧决士匠	交通量	[台/日]	17, 700	16, 200
	県道市原 茂原線: 10.9km	走行時間	[分]	27	27
	TO. 9KIII	走行時間費用	[億円/年]	90. 57	86. 65
	県道木更	交通量	[台/日]	4, 800	4, 700
	津末吉線:	走行時間	[分]	28	27
	17.9km	走行時間費用	[億円/年]	23. 72	22. 86
	道路合計: 1.6km	走行時間費用	[億円/年]	23, 133. 596	23, 108. 26

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)
合計:7321.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	23, 705. 81	23, 650. 39	55. 41

※:四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名:首都圏中央連絡自動車道(茂原~木更津)(残事業)

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名:首都圏中央連絡自動車(茂原~木更津)

(2)

第出マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) その他 ク析の基本的事項 社会的割引率 4% 基準年次 平成26年度 下時点のみ推計 ■ (H42) 複数時点での推計 ■ (H42) を適の有無を小ぞれで交通流を推計 ■ (H42) を適の有無を小ぞれで交通流を推計 ■ (H42) を適の有無のいずれかのみ推計 □ 有 □ 無いずれかのみの推計の場合 道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) バーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (三段階推定法) バーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) スーツントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) スーツントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) スーツントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) スーツントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) をの他() □ □ まは、 1 回 □ まは、 2 回 □ まは、 3 回 □ まは、 3 回 □ まは、 4 回 □ まは、 4 回 □ まは、 4 回 □ まは、 4 回 □ まは、 5 回 □ □ まは、 5 回 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		項目						
その他			費用便益分析マニュアル	_				
分析の基本的事項		算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	-				
分析の基本的事項			その他					
分析の基本的事項 技会的割引率				50年間				
英通流の	4	分析の基本的事項		4%				
で				平成26年度				
推計時点 複数時点での推計 整備の有無それぞれで交通流を推計 整備の有無のいずれかのみ推計 □ 有 □ 無 がずれかのみの推計のようではます。 「と段階推定法」 (円17センサス) (四段階推定法) (四段階推定法) (のの考慮) 無 有 □ □ 無 「現路交通量の表 (三段階推定法) (のの場合のみ 考慮) 「現路で、通量の表 (三段階推定法) (のの場合のみ 考慮) 「現路で、通量の表 (三段階推定法) (の場合のみ 考慮) 「現路で、通量の表 (三段階推定法) (の場合のみ 考慮) 「現路で、通量の表 (三段階推定法) (の場合のみ 表慮) 「現路で、通量(トリップ数) () 合トリップ / 日本の場合のみ 表慮した関発交通量(トリップ数) 「カートリップ / 日本の場合のみ 表慮した関発交通量(トリップ数) 「カートリップ / 日本の場合のみ 表慮した関発を通量(トリップ数) 「関係を表慮した関発を通量(トリップ数) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		交通流の						
推計の状況 整備の有無それぞれで交通流を推計 整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合 道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他(無 有 有の場合のみ 有の場合のみ 有の場合のみ 有の場合のみ 有の場合のみ 有の場合のみ 有の場合のみ を放棄式を用いた配分 ロースとも、理由を記載 ロースはと転換率式の併用による配分 対衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 国協男手法の探決理由を記載 「小規模事業である」 は開発を通量の表 での他(「簡易手法の表え方(将来交通量の設定方法等) 本の他(をの他(本の他(本の他(本の他(本の他(本の他(本の他の表え方の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載で適差が混在した配分は表しているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載では、一定は表しているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載 「根計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
#計の状況 整備の有無のいずれかのみ性計 □ 有 □無 □ ボカかのみの推計の場合 1 ですれかのみの推計をした理由を記載 1 ですれかのみの推計をした理由を記載 1 で		7241 7711						
推計の状況				□ 右 □ 冊				
## (H17センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他() □ 無 ■ 有 □ □ 素慮した開発交通量(トリップ数) オの場合のみ 考慮した理由を記載 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		推計の状況	1. 12 1 0 0 0 14 = 1 1 1 1 m 1 4 = 3 + b					
道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) その他(1 6 9 163 103 103 103 103 103 103 103 103 103 10					
# 注計に用いた OD表				_				
#計に用いた OD表				■ (⊔17+2++7)				
(四段階推定法) 日本の他(推計に用いた		(1117 62 9 %)				
その他(OD表						
無				<u>_</u>				
通流 推 計								
満元								
##	通	関発な済量の	有					
推計	流			()台トリップ/日				
□ 日本	推	5 //25	有の場合のみ一考慮した理由を記載					
転換率式を用いた配分	計							
図ーV式と転換率式の併用による配分 均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) 簡易手法 簡易手法の 採択理由 が規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他(簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等) その他(各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載			QーV式を用いた配分					
対衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) □ 簡易手法 □ 小規模事業である □ 山間部海岸部で併行道路が少ない -			転換率式を用いた配分					
配分交通量の 推計手法 簡易手法			QーV式と転換率式の併用による配分					
配分交通量の 推計手法 か規模事業である □ □ □ □ □ □ □ □ □			均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)					
配分交通量の 推計手法 簡易手法の 採択理由 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他() をの他() 各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載			簡易手法					
#計手法			小規模事業である					
その他(簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等) その他(各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載		推計手法	簡易手法の「山田かた出力ではないます。					
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等) その他(1/4 1/4 Z EL					
各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載								
各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載								
各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。 最終配分の速度 採用理由を記載								
して設定 採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。考え方 最終配分の速度 採用理由を記載			その他()					
採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。考え方 最終配分の速度 採用理由を記載			各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	_				
採用理由を記載交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。考え方 最終配分の速度 採用理由を記載			して設定	-				
速度設定の 考え方 最終配分の速度 採用理由を記載								
速度設定の 考え方 最終配分の速度 採用理由を記載				上出においては、速度差				
最終配分の速度 採用理由を記載								
採用理由を記載		ラ た刀	最終配分の速度					
その他() □								
その他() □								
			その他()					

(3)

項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
		考慮しない					
		考慮する					
		3 //2. 7	面的に考慮				
	休日交通の		対象路線のみ考慮				
	影響	考慮する	採用した休日係数	() %			
		場合のみ	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え	, ,			
		考慮しない					
		考慮する					
			採用した通行止め日数	() 日			
	災害等による		採用した通行止め日数の考え方を記載				
	通行止めの 影響	考慮する					
	ボン 自	場合のみ	とり止め交通を考慮する				
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	はその考え方を記載			
		考慮しない					
		考慮する					
		· 3 // C	採用した冬期日数	() 日			
	冬期交通の		採用した冬期日数の考え方を記載	. 			
/ =	影響	考慮する					
便益	益	場合のみ	冬期の走行速度と交通容量の関係				
の			会別のたりを及らく過行里の場所 設定の考え方を記載				
算							
定		ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定■					
	時点以外の	その他	<u> </u>	-			
	便益の算定	ての他)				
		費用便益分					
	車種別時間 車種別時間	独自に設定し					
	価値原単位						
		書田便益公:					
	 車種別走行		П				
	上	独自に設定した値を使用					
	,						
		山山八 幽世/	の有無を考慮				
	交通事故減少 便益算定		+ = =				
		中央分離帯の有無を考慮しない □ □ ★ 虚しない ■ ■					
	走行時間短縮·走 行経費減少·交通	考慮しない		-			
	行程質減少・交通 事故減少以外の便	考慮する (考慮の場合)	、算出根拠を添付すること)				
	益	, J. M 7 - 93 El V					
	その他						

事業名:首都圏中央連絡自動車(茂原~木更津)

(4)

		項目	チェック欄				
		詳細事業計画による値を採用					
	事業費	標準投資パターンを採用					
費		その他()					
用	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載					
の	推付自任其	東日本高速道路(株)の維持管理計画に基づいて設定					
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である					
定	定をの他						
4.	4.その他						

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 箇所名:首都圈中央連絡自動車道(茂原~木更津) (事業全体) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

固川石:目郁圏中央連続	百日利牛	但(汉原)	小丈件)	(尹未王仲)	単価(億円)	延長(km) 28.5	単純価値(億円)
		割戻率	GDP	事業費	(倍円)	維持管理	
年次	年度	可大十	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-21年目	H 4	2.3699	110.6	2.00	3.91	一小心面后	ジに下面に
-20年目	H 5	2.2788	110.9	1.98	3.72		
-19年目	H 6	2.1911	110.8	1.90	3.44		
-18年目	H 7	2.1068	109.9	2.85	5.00		
-17年目	H 8	2.0258	109.5	5.72	9.66		
-16年目	Н 9	1.9479	110.4	5.21	8.39		
-15年目	H 10	1.8730	109.9	22.18	34.51		
-14年目	H 11	1.8009	108.4	47.38	71.87		
-13年目	H 12	1.7317	107.2	59.85	88.28		
-12年目	H 13	1.6651	105.7	91.10	131.02		
-11年目	H 14	1.6010	103.8	141.16	198.78		
-10年目	H 15	1.5395	102.3	147.94	203.26		
-9年目	H 16	1.4802	101.0	134.26	179.64		
-8年目	H 17	1.4233	99.6	176.78	230.65		
-7年目	H 18	1.3686	98.7	205.16	259.74		
-6年目	H 19	1.3159	97.6	94.29	116.06		
-5年目	H 20	1.2653	96.8	74.90	89.38		
-4年目	H 21	1.2167	95.6	101.56	118.01		
-3年目	H 22	1.1699	93.7	87.85	100.14		
-2年目	H 23	1.1249	92.1	72.87	81.26		
-1年目	H 24	1.0816	91.3	27.82	30.09		
供用開始年次	H 25	1.0400	91.3	103.81	107.96	7.53	7.83
1年目	H 26	1.0000	91.3	11.67	11.67	7.91	7.91
2年目	H 27	0.9615	91.3	2.13	2.05	7.90	
3年目	H 28	0.9246	91.3	0.09	0.09	8.08	
4年目	H 29	0.8890	91.3	0.09	0.08	8.25	
5年目	H 30	0.8548	91.3	0.09	0.08	8.35	
6年目	H 31	0.8219	91.3	0.09	0.08	8.52	
7年目	H 32	0.7903	91.3	0.09	0.07	8.57	6.77
8年目	H 33	0.7599	91.3	0.09	0.07	8.64	
9年目	H 34	0.7307	91.3	0.09	0.07	8.68	
10年目	H 35	0.7026	91.3	0.09	0.07	8.72	
11年目	H 36	0.6756	91.3	0.09	0.06	8.80	
12年目	H 37	0.6496	91.3	84.96	55.19	8.90	
13年目	H 38	0.6246	91.3	121.21	75.71	9.00	
14年目	H 39	0.6006	91.3	133.87	80.40	9.12	
15年目	H 40	0.5775	91.3	60.14	34.73	9.22	
16年目	H 41	0.5553	91.3	68.42	37.99	9.33	
17年目	H 42	0.5339	91.3			10.68	
18年目	H 43	0.5134	91.3			10.79	
19年目	H 44	0.4936	91.3			10.89	
20年目	H 45	0.4746	91.3			10.96	
21年目	H 46	0.4564	91.3			11.03	
22年目	H 47	0.4388	91.3			11.10	
23年目	H 48	0.4220	91.3			11.17	
24年目	H 49	0.4057	91.3			11.24	
25年目	H 50	0.3901	91.3			11.31	4.41
26年目	H 51	0.3751	91.3			11.29	
27年目	H 52	0.3607	91.3			11.26	4.06
28年目	H 53	0.3468	91.3			11.24	3.90
29年目	H 54	0.3335	91.3			11.21	3.74
30年目	H 55	0.3207	91.3			11.18	
31年目	H 56	0.3083	91.3			11.16	
32年目	H 57	0.2965	91.3			11.14	
33年目	H 58	0.2851	91.3			11.11	
34年目	H 59	0.2741	91.3			11.08	
35年目	H 60	0.2636	91.3			11.05	2.91
36年目	H 61	0.2534	91.3			10.95	2.78
37年目	H 62	0.2437	91.3			10.93	2.66
38年目	H 63	0.2343	91.3			10.90	2.55
39年目	H 64	0.2253	91.3			10.88	
40年目	H 65	0.2166	91.3			10.86	
41年目	H 66	0.2083	91.3			10.83	2.26
42年目	H 67	0.2003	91.3			10.81	2.17
43年目	H 68	0.1926	91.3			10.79	
44年目	H 69	0.1852	91.3			10.76	
45年目	H 70	0.1780	91.3			10.74	
46年目	H 71	0.1712	91.3			10.71	1.83
47年目	H 72	0.1646	91.3			10.69	
48年目	H 73	0.1583	91.3			10.67	1.69
49年目	H 74	0.1522	91.3	-246.11	-37.46	10.64	1.62
A 21	1						
合 計				1845.69	2335.70	507.56	222.30
単純事業費計				2091.80		507.56	
1-4-0-7-A-X-HI				2001.00		557.00	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、

がずしも全体の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:首都圏中央連絡自動車道(茂原~木更津) (残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円

28.5

		割戻率	GDP	事業費	—— (倍四)	28.5 維持管理	-
年次	年度	司庆午	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-21年目	H 4	2.3699	110.6	一小心面但	ジロー	十小で同門に	
-20年目	H 5	2.2788	110.9				
-19年目	H 6	2.1911	110.8				
-18年目	H 7	2.1068	109.9				
-17年目	H 8	2.0258 1.9479	109.5				
	H 9	1.8730	110.4 109.9				
-14年目	H 11	1.8009	108.4				
-13年目	H 12	1.7317	107.2				
-12年目	H 13	1.6651	105.7				
-11年目	H 14	1.6010	103.8				
-10年目	H 15	1.5395	102.3				
	H 16	1.4802 1.4233	101.0 99.6				
-7年目	H 18	1.3686	98.7				
-6年目	H 19	1.3159	97.6				
-5年目	H 20	1.2653	96.8				
-4年目	H 21	1.2167	95.6				
-3年目	H 22	1.1699	93.7				
2年目 -1年目	H 23	1.1249 1.0816	92.1 91.3				
供用開始年次	H 25	1.0400	91.3				
1年目	H 26	1.0000	91.3				
2年目	H 27	0.9615	91.3	2.13	2.05		
3年目	H 28	0.9246	91.3	0.09	0.09		
4年目	H 29	0.8890	91.3	0.09	0.08		
5年目	H 30	0.8548	91.3	0.09	0.08 0.08		
6年目 7年目	H 31	0.8219 0.7903	91.3 91.3	0.09 0.09	0.08		
8年目	H 33	0.7599	91.3	0.09	0.07		
9年目	H 34	0.7307	91.3	0.09	0.07		
10年目	H 35	0.7026	91.3	0.09	0.07		
11年目	H 36	0.6756	91.3	0.09	0.06		
12年目 13年目	H 37	0.6496 0.6246	91.3 91.3	84.96 121.21	55.19 75.71		
14年目	H 39	0.6006	91.3	133.87	80.40		
15年目	H 40	0.5775	91.3	60.14	34.73		
16年目	H 41	0.5553	91.3	68.42	37.99		
17年目	H 42	0.5339	91.3			1.35	0.72
18年目	H 43	0.5134	91.3			1.45	0.75
19年目	H 44	0.4936	91.3			1.55	0.77
20年目 21年目	H 45	0.4746 0.4564	91.3 91.3			1.62 1.70	0.77 0.77
22年目	H 47	0.4388	91.3			1.77	0.77
23年目	H 48	0.4220	91.3			1.84	0.77
24年目	H 49	0.4057	91.3			1.91	0.77
25年目	H 50	0.3901	91.3			1.98	0.77
26年目	H 51	0.3751	91.3			1.95	0.73
27年目 28年目	H 52	0.3607 0.3468	91.3 91.3			1.93 1.90	0.70 0.66
29年目	H 54	0.3335	91.3			1.88	0.63
30年目	H 55	0.3207	91.3			1.85	0.59
31年目	H 56	0.3083	91.3			1.83	0.56
32年目	H 57	0.2965	91.3			1.80	0.53
33年目 34年目	H 58	0.2851	91.3			1.78	0.51
34年日 35年目	H 59	0.2741	91.3 91.3			1.75 1.72	0.48 0.45
36年目	H 61	0.2534	91.3			1.62	0.43
37年目	H 62	0.2437	91.3			1.59	0.39
38年目	H 63	0.2343	91.3			1.57	0.37
39年目	H 64	0.2253	91.3			1.55	0.35
40年目 41年目	H 65	0.2166	91.3 91.3			1.52	0.33
41年日 42年目	H 66	0.2083	91.3			1.50 1.48	0.31 0.30
43年目	H 68	0.1926	91.3			1.45	0.30
44年目	H 69	0.1852	91.3			1.43	0.26
45年目	H 70	0.1780	91.3			1.40	0.25
46年目	H 71	0.1712	91.3			1.38	0.24
47年目 48年目	H 72	0.1646 0.1583	91.3 91.3			1.36 1.33	0.22 0.21
49年目	H 74	0.1583	91.3	-9.71	-1.48	1.33	0.21
→ → →	,4	0.1022	31.3	J./1	1.40	1.01	0.20
合 計				461.85	285.26	54.04	16.83
単純事業費計				471.56		54.04	
十作于不良口				1 /1.50		J 4 .U4	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、

がずしも全体の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:首都圈中央連絡自動車道(茂原~木更津)(事業全体)

	#	V = V = V	1 + 1 + 1 + 1 + 1	11/14/1/計		排回	ָּוֹי ווי														1
	井 凉 (耕 華 年)	郡足17官	核足17戸4mの4火刈伸の4(閏車臨海2,0%)	5 で (を)		型 不	7 1/7		足15時間22	时间 拉着使使得多,		碧 存価値		元14粒質減少19年(18日)	アドドラロー		現存価値	サタ減少は有(同口) 田存信	再/1万 L 1/ 超 在 価 価	価益合計	(1817) 田存価値
年次	.,	《云 乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車	8		乗用車類	小型貨物	普通貨物	中中	i ×	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × (2)		3×(A)	(D~3)	න다 때 [割引率4%
始年次1		1.00063	0.99472	1.00801	1.00082	1.0400	91.3		10.73	14.28			8.54	0.88	1.12	10.54	10.96	5.86	60'9	111.06	115.51
		1.00063	0.99469	1.00795	1.00082	1.0000	91.3			14.39			8.54	0.88	1.13	10.55	10.55	5.86	5.86	111.18	111.18
		1.00063	0.99466	1.00789	1.00082	0.9615	91.3						8.55	0.87	1.14	10.56	10.15	5.87	5.64	111.30	107.01
3年目 14年日 1	H 28	1.00063	0.99464	1.00783	1.00081	0.9246	91.3		10.56	14.62		87.81	8.55	0.87	1.15	10.57	9.77	5.87	5.43	111.41	103.01
		1.00063	0.99461	1.00///	1.00081	0.0030	91.3	69.88			93.00		0.30	0.00		10.58	9.40	0.00	5.03	111.64	95.13
6年目		1.00063	0.99455	1.00765	1.00081	0.8219	91.3						8.57	0.85		10.59	8.71	5.89	4.84	111.76	91.86
	Н 32	1.00175	0.99529	1.01063	1.00219	0.7903	91.3						8.57	0.85		10.60	8.38	5.89	4.66	111.88	88.42
Ī		1.00175	0.99527	1.01052	1.00219	0.7599	91.3						8.59	0.85	1.19	10.63	8.08	5.90	4.49	112.15	85.22
	Н 34	1.00174	0.99525	1.01041	1.00218	0.7307	91.3	70.22			95.85	70.04	8.60	0.84	1.21	10.65	7.78	5.92	4.32	112.42	82.14
	Н 35	1.00174	0.99523	1.01030	1.00218	0.7026	91.3	70.34	10.19	15.56	96.08		8.62	0.84	1.22	10.68	7.50	5.93	4.17	112.69	79.18
	9E H	1.00174	0.99520	1.01020	1.00217	0.6756	91.3						8.63	0.83	1.23	10.70	7.23	5.94	4.01	112.96	76.32
		1.00173	0.99518	1.01009	1.00217	0.6496	91.3						8.65	0.83	1.24	10.72	6.97	5.96	3.87	113.23	73.55
	Н 38	1.00173	0.99516	1.00999	1.00217	0.6246	91.3		1				8.66	0.83	1.26	10.75	6.71	5.97	3.73	113.50	70.89
	Н 39	1.00173	0.99513	1.00989	1.00216	0.6006	91.3						89.88	0.82	1.27	10.77	6.47	5.98	3.59	113.77	68.33
	Н 40	1.00172	0.99511	1.00980	1.00216	0.5775	91.3	70.95					8.69	0.82	1.28	10.79	6.23	5.99	3.46	114.04	65.86
	Н 41	1.00172	0.99509	1.00970	1.00215	0.5553	91.3	71.07	68'6				8.71	0.81		10.82	6.01	6.01	3.34	114.31	63.48
		0.98976	0.99372	1.00237	0.99259	0.5339	91.3	111.65					14.35	1.25		17.62	9.40	11.69	6.24	182.44	97.41
	43	0.98965	0.99368	1.00236	0.99253	0.5134	91.3		16.04				14.20	1.24	2.02	17.47	8.97	11.60	5.96	181.02	92.94
	Н 44	0.98954	0.99364	1.00236	0.99248	0.4936	91.3	109.37	15.94				14.06	1.23	2.03	17.32	8.55	11.52	5.68	179.60	88.65
1	45	0.98943	0.99360	1.00235	0.99242	0.4746	91.3						13.91	1.22		17.17	8.15	11.43	5.43	178.18	84.56
_	46	0.98932	0.99356	1.00234	0.99236	0.4564	91.3						13.76	1.21		17.02	7.7.7	11.34	5.18	176.76	80.67
Ī		0.98920	0.99352	1.00234	0.99231	0.4388	91.3						13.62	1.21		16.87	7.40	11.26	4.94	175.34	76.94
23年目	48	0.98909	0.99348	1.00233	0.99225	0.4220	91.3						13.47	1.20		16.72	7.05	11.17	4.71	173.91	73.39
T	49	0.98896	0.99343	1.00233	0.99218	0.4057	91.3						13.32	1.19		16.57	6.72	11.08	4.50	172.49	69.98
	1 20	0.98884	0.99339	1.00232	0.99212	0.3901	91.3	102.50	15.33	25.82	143.66	52.04	13.18	1 18	2.06	16.26	6.40	10.00	4.29	169.65	62.63
77年目 1	52	0.90972	0.99330	1.00232	0.99200	0.3607	913						12.88	117	20.2	16.23	5.13	10.87	3.90	168 23	60.68
		0.98846	0.99326	1 00231	0.99200	0.3468	91.3						12.73	1.16	2.07	15.96	5.54	10.74	3.72	166.80	57.85
		0.98832	0.99321	1 00230	0.99187	0.3335	91.3						12.59	1.15	2.08	15.81	5.27	10,65	3,55	165,38	55.16
	55	0.98818	0.99316	1.00230	0.99180	0.3207	91.3						12.44	1.14	2.08	15.66	5.02	10.56	3.39	163.96	52.58
		0.98804	0.99312	1.00229	0.99173	0.3083	91.3						12.29	1.14	2.09	15.51	4.78	10.48	3.23	162.54	50.11
	22	0.98790	0.99307	1.00229	0.99166	0.2965	91.3						12.15	1.13	2.09	15.36	4.56	10.39	3.08	161.12	47.77
	28	0.98775	0.99302	1.00228	0.99159	0.2851	91.3						12.00	1.12	2.09	15.21	4.34	10.30	2.94	159.70	45.53
		0.98760	0.99297	1.00227	0.99152	0.2741	91.3		14.42				11.85	1.11	2.10	15.06	4.13	10.22	2.80	158.27	43.38
	_	0.98744	0.99292	1.00227	0.99145	0.2636	91.3						11.71	1.10	2.10	14.91	3.93	10.13	2.67	156.85	41.35
T	61	0.98728	0.99287	1.00226	0.99138	0.2534	91.3						11.56	1.10	2.11	14.76	3.74	10.04	2.55	155.43	39.39
Ī		0.98712	0.99282	1.00226	0.99130	0.2437	91.3			26.54			11.41	1.09		14.61	3.56	96.6	2.43	154.01	37.53
Ī	63	0.98695	0.99277	1.00225	0.99122	0.2343	91.3					30.05	11.26	1.08		14.46	3.39	9.87	2.31	152.59	35.75
39年日		0.98678	0.99272	1.00225	0.99115	0.2253	91.3	86.49	13.91	26.66	127.07		11.12	1.07	2.12	14.31	3.23	9.78	2.20	151.17	34.06
		0.98800	0.99200	1.00224	0.99107	0.2100	91.3			20.72			10.97	106	2.13	14.10	2 92	9.70	2.10	148.32	30 90
42年目 ト	67	0.98623	0.99201	1 00223	0 99090	0.2003	91.3						10.68	1.05	2.14	13.86	2.78	9.52	1.91	146.90	29.42
	╙	0.98604	0.99250	1 00223	0.99082	0 1926	913						10.53	104	214	13 71	2.64	9 44	182	145 48	2802
		0.98584	0.99244	1.00222	0.99074	0.1852	91.3			26.96			10.38	1.03	2.15	13.56	2.51	9.35	1.73	144.06	26.68
45年目 1	И 70	0.98564	0.99238	1.00222	0.99065	0.1780	91.3	79.63					10.24	1.03	2.15	13.41	2.39	9.26	1.65	142.64	25.39
	Н 71	0.98543	0.99232	1.00221	0.99056	0.1712	91.3	78.49	13.20	27.08	118.77	20.33	10.09	1.02	2.16	13.26	2.27	9.18	1.57	141.21	24.18
		0.98521	0.99226	1.00221	0.99047	0.1646	91.3						9.94	1.01	2.16	13.11	2.16	60'6	1.50	139.79	23.01
ш (0.98499	0.99220	1.00220	0.99038	0.1583	91.3						9.79	1.00		12.96	2.05	9.01	1.43	138.37	21.90
49年目	Н 74	0.98476	0.99214	1.00220	0.99029	0.1522	91.3	75.06	12.90				0	00		1001	40	00α	30	1000	20 R4
								,	ľ	27.20	22.011	40.71	00.0	00.1	71.7	12.01	06.1	26.0	05.1	130.90	10.02

便益の現在価値算定表

|所名:首都圈中央連絡自動車道(茂原~木更津)(残事業)

現在価値 割引率4% 30.00 24.81 16.91 15.35 66.79 66.26 65.72 65.19 64.66 64.12 63.59 63.05 62.52 59.31 58.78 60.92 60.38 59.85 58.25 57.71 57.18 56.64 55.11 55.58 55.04 53.44 52.90 ŲΠ 便益合計 2.76 2.63 2.51 2.40 2.29 2.18 2.08 1.99 1.89 1.72 1.64 1.57 1.49 1.43 1.36 0.88 0.84 0.80 1.02 0.97 0.93 0.73 0.69 0.66 1.84 現在価値 事故減少便益(億円) 5.59 5.54 5.50 5.46 5.42 5.33 5.29 5.25 5.25 5.25 5.27 5.12 5.08 5.04 5.00 4.96 4.91 4.83 4.75 4.75 4.66 4.66 4.62 4.58 4.58 4.45 4.41 4.37 現在価値 (A)×② 2.99 2.84 2.71 2.27 2.23 2.23 2.23 2.23 2.23 1.93 1.93 1.66 1.66 1.66 1.58 1.37 1.33 1.24 1.12 0.96 0.83 0.75 0.75 0.000 5.01 4.96 4.90 5.07 (C) 0.76 0.76 0.77 0.77 走行経費減少便益(億円 通貨物 0.36 0.35 0.35 0.35 小型貨物 用車類 4.07 13.82 12.55 11.96 11.39 9.38 7.34 6.98 6.65 6.32 現在価値 ①×(A) 14.50 10.85 10.34 9.84 42.85 42.41 41.98 走行時間短縮便益(億円) 普通貨物 9.25 9.21 0.00 小型貨物 33.83 33.41 33.00 32.58 32.17 31.76 28.44 28.03 27.61 27.20 30.93 30.51 30.10 29.68 29.27 28.85 31.34 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 91.3 GDP ∓^776−4 9 91.3 91.3 9 91.3 91. 6 6 1.0400 1.0000 0.9615 0.9246 0.8890 0.8548 0.8548 0.1646 0.6246 0.6006 0.5775 0.7903 0.7599 0.7307 0.7026 0.6756 0.4746 0.2343 割戻率 0.4936 0.4564 0.4220 0.649 0.5553 0.533 0.438 0.320 0.513 0.3900.3600.2850.208 0.263 0.225 3 .00219 .00082 .00216 .00215 0.99218 0.99180 0.99145 0.99122 .00219 .00217 0.99115 0.99038 .00081 0.99248 0.99212 3.99166 0.991590.99074 0.99056 .00081 .00217 0.992590.99253 3.99242 0 99236 90266 0.99200 3.99152 0.99099 0.990650.99047 .00081 .0021 0.991 1.00222 普通貨物 1.00789 0.00970 1.00234 1.00233 1.00225 1.00225 1.00783 1.00989 1.00236 1.00230 1.00224 1.00220 1.00220 77700. 1.00771 .00237 .00236 1.00235 .00232 .00228 1.00227 .00222 00234 .00232 1.00231 .00229 .00221 1.00221 .00229 .00224 総走行台もの年次別伸び率 (関東臨海プロック) .0023 000 000 小型貨物 0.99464 0.99458 0.995200.99513 0.99364 0.99352 0.99343 0.99330 **乗**用重類 1.00175 1.00173 1.00172 0.98920 0.98818 1.00063 .00063 1.00175 .00174 1.00174 1.00063 1.00063 .00174 1.00173 0.98954 0.98896 0.98884 0.98872 0.98859 0.98775 0.98744 0.98728 0.98678 0.98543 0.98499 1.00173 0.98976 0.98965 0.98932 0.98790 0.98760 0.98695 0.98642 0.98584 0.98521 41 42 43 44 49 年度 ^{長準年)} H23 21年目 22年目 23年目 25年日 25年日 27年目 27年日 28年日 28年日 28年日 30年日 31年日 31年日 31年日 19年目 20年目 33年目 34年目 35年目 37年目 38年目 39年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 45年目 46年目 47年 48年 49年

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (茂原~木更津)	4	28.5km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費			式	1	154,532	
	改良費		式	1	44,179	
		土工	m3	12,707,860	25,371	
		軟弱地盤改良工	m3	34,880	6,377	
		法面工	m2	853,181	3,258	
		擁壁工	式	1	733	
		管渠工	m	1,939	181	
		函渠工	m	2,547	4,241	
		排水工	m	40,383	2,011	
		中央分離帯工	m	36,988	1,383	
		雑工	式	1	624	
	橋梁費	•	m	5,872	30,225	
		100m以上	m	4,773	23,941	
		100m未満	m	1,098	6,284	
	トンネル費	Ì	m	9,592	36,585	
		NATM	m	9,592	36,585	
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所	4	25,372	
		IC	箇所	3	18,033	
		JCT	箇所	1	7,339	
	舗装費		m2	709,454	5,761	
		車道舗装	m2	709,454	5,761	
		歩道舗装	m2	0	0	
	付帯施設	費	式	1	12,410	
		交通管理施設工	式	1	12,410	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及裤	 捕償費		式	1	33,976	
	用地費		m2	2,914,411	24,611	
		宅地	m2	87,771	1,565	
		田畑	m2	638,632	9,444	
		山林·原野	m2	2,148,265	12,786	
		その他	m2	39,743	816	
	補償費	1	式	1	9,365	
③間接経費	1		式	1	31,292	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					219,800	

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (茂原~木更津)	4	28.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費				1	42,641	
	改良費			1	3,973	
		土工	m3	844,760	2,020	
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	145,722	612	
		擁壁工	式	1	186	
		管渠工	m			
		函渠工	m	374	565	
		排水工	m	14,417	276	
		中央分離帯工	m	8,926	313	
		雑工	式	1		
	橋梁費		m	2,591	11,612	
		100m以上	m	2,265	9,183	
		100m未満	m	326	2,428	
	トンネル費		m	4,841	20,269	
		NATM	m	4,841	20,269	
		シールド	m			
	IC・JCT費		箇所	2	3,476	
		IC	箇所	2	3,476	
		JCT	箇所			
	舗装費		m2	378,193	2,786	
		車道舗装	m2	378,193	2,786	
		步道舗装	m2			
	付帯施設	費	式	1	525	
		交通管理施設工	式	1	525	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及補	償費			1	971	
	用地費		m2	114,985	971	
		宅地	m2	3,463	62	
		田畑	m2	25,197	373	
		山林·原野	m2	84,758	504	
		その他	m2	1,568	32	
	補償費		式			
③間接経費	ł		式	1	7,240	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費	ł				50,851	

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (茂原~木更津)	4	28. 5km

■維持管理費内訳

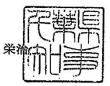
	金額	
	(百万円/年)	備考
平成25年度	753	
平成26年度	791	
平成27年度	790	
平成28年度	808	
平成29年度	825	
平成30年度	835	
平成31年度	852	
平成32年度	857	
平成33年度	864	
	868	
平成35年度	872	
平成36年度	880	
平成30年度	890	
平成37年度	900	
平成30年度	912	
平成40年度	922	
平成41年度	933	
平成42年度	1068	
平成43年度	1079	
平成44年度	1089	
平成45年度	1096	
平成46年度	1103	
平成47年度	1110	
平成48年度	1117	
平成49年度	1124	
平成50年度	1131	
平成51年度	1129	
平成52年度	1126	
平成53年度	1124	
平成54年度	1121	
平成55年度	1118	
平成56年度	1116	
平成57年度	1114	
平成58年度	1111	
平成59年度	1108	
平成60年度	1105	
平成61年度	1095	
平成62年度	1093	
平成63年度	1090	
平成64年度	1088	
平成65年度	1086	
平成65年度	1083	
平成60年度 平成67年度	1083	
平成68年度	1079	
平成69年度	1076	
平成70年度	1074	
平成71年度	1071	
平成72年度	1069	
平成73年度	1067	
平成74年度	1064	



県土政第613号 平成26年9月17日

国土交通省関東地方整備局長 様

千葉県知事 鈴木 栄養



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の 作成に係る意見照会について(回答)

平成26年9月5日付け国関整企画第130号で照会のありましたこのことについて、別紙のとおり回答いたします。

関東地方整備局 全画第 19 号 26. 9.17



【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案	于葉県知事の意見
事 未也	*	
一般国道468号 首都圏中 央連絡自動車道(つくば〜 大栄)	継続	圏央道(つくば〜大栄)は、常磐道及び東関道と一体となって高速道路ネットワークを形成し、これにより成田空港の利便性が大幅に高まるなど、地域経済の活性化や国際競争力の強化に大きく貢献するとともに、災害時の道路ネットワークを強化する極めて重要な道路である。 その効果を最大限に発現するためには、早期全線開通を図る必要がある。また、成田空港と各都市との連携を強化するため、沿線地域等から、今年度内の確実な全線開通及び早期の4車線化が求められている。これらのことから、事業の継続が必要であるので、引き続きコスト縮減に努めながら、事業の推進を図られたい。
一般国道468号 首都圈中 央連絡自動車道(茂原~木 更津)	継続	圏央道(茂原〜木更津)は、館山道及び東京湾アクアラインと一体となって高速道路ネットワークを形成し、地域経済の活性化や観光立県千葉の実現に資するとともに、災害時の道路ネットワークを強化する極めて重要な道路である。 その効果を最大限に発現するためには、沿線地域等から、(仮称)かずさインターチェンジの整備や、円滑な交通の確保に向けた、早期の4車線化が求められている。これらのことから、事業の継続が必要であるので、引き続きコスト縮減に努めながら、事業の推進を図られたい。